

山武市総合計画審議会 会議録

会 議 名 称	令和6年度第1回山武市総合計画審議会	
開 催 日 時	令和6年8月28日(水) 開会：午後2時30分 閉会：午後4時05分	
開 催 場 所	山武市役所第5会議室	
議 長 氏 名	金子 光委員	
出 席 者 氏 名	別添「出欠者名簿」のとおり (13名)	
欠 席 者 氏 名	菊池 光起委員、齊藤 茂委員、相葉 英樹委員、大高 衛委員、 嶮 博文委員、佐瀬 雅代委員、中嶋 優子委員 (7名)	
事 務 局 氏 名	別添「出欠者名簿」のとおり	
会 議 事 項	<p>次 第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 委嘱状交付 3. 会長あいさつ 4. 市長あいさつ 5. 委員・職員の紹介 6. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第3次山武市総合計画の進行管理について (2) 指標の変更について (3) その他 7. その他 8. 閉 会 	<p>会議結果</p> <p>6</p> <p>(1) 原案により決定</p> <p>(2) 原案により決定</p>
会 議 経 過	別添「会議経過」のとおり	
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度第1回山武市総合計画審議会 次第 ・ 【資料1-1】 第3次山武市総合計画の達成状況 [令和6年8月現在] ・ 【資料1-2】 令和5年度施策・基本事業評価結果 ・ 【資料1-3】 重点分野成果状況一覧表 ・ 【資料2-1】 指標の変更について ・ 【資料2-2】 経済構造統計の体系的整備の進展 ・ 【別 紙】 資料等の概要について ・ 【参考1】 山武市総合計画条例 ・ 【参考2】 山武市総合計画審議会運営要綱 ・ 【参考3】 山武市総合計画審議会 委員名簿 ・ 第1回山武市総合計画審議会 座席表 ・ 指標等の訂正について ・ 【訂正箇所】【資料1-2】 令和5年度施策・基本事業評価結果 ・ 【訂正箇所】【資料1-3】 重点分野成果状況一覧表 	

その他必要事項	署名委員の指名	戸村 進 委員	小川 真実 委員
会議録の確定			
確定年月日	署名委員		
令和7年2月4日	小川 真実		
	戸村 進		

(会議経過)

発 言 者	発言内容 ・ 意見
荒木総合政策部長	<p style="text-align: right;">【午後 2 時 30 分】</p> <p>【1. 開 会】</p> <p>大変お待たせいたしました。定刻になりましたので、ただいまより、令和 6 年度第 1 回山武市総合計画審議会を開催させていただきます。</p> <p>私は、本日の司会を務めさせていただきます、総合政策部の荒木でございます。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日は、お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>それでは、早速ですが、お手元の次第に基づきまして、進めさせていただきます。</p>
荒木総合政策部長	<p>【2. 委嘱状交付】</p> <p>次第 2 「委嘱状交付」でございます。</p> <p>本会議の委員は、関係行政機関等からご推薦によりお願いしておりますが、今般、役員の改選により委員の交替がありましたので、これに係る委嘱状の交付を行いたいと思います。</p> <p>本来であれば、市長からお一人ずつ直接お渡しさせていただきたいところですが、時間にも限りがございますので、各委員のお手元にお配りをさせていただきます。委嘱期間としましては、令和 6 年 8 月 28 日から令和 7 年 3 月 31 日までとなります。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
荒木総合政策部長	<p>【3. 会長あいさつ】</p> <p>続きまして、次第 3 「会長あいさつ」です。金子会長、よろしくお願いいたします。</p>
金子会長	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>昨年度会長を承りました、慶応義塾大学の金子でございます。改めましてよろしくお願い申し上げます。</p> <p>だいぶ暑い日が続いておりますが、皆さん、熱中症など大丈夫でしょうか。</p> <p>今年はオリンピックイヤーということで、パラリンピックが日本時間の本日深夜からスタートということでもあります。</p> <p>オリンピックを見て感じましたことを 2 つ冒頭申し上げて、私からの挨拶とさせていただきます。</p> <p>今回のオリンピックで、日本人の金メダル第 1 号は柔道の角田夏実選手でありました。角田夏実選手といえば、得意技が巴投げです。</p>

海外の選手もみんな巴投げを研究して、オリンピックに臨まれていたそうです。

にもかかわらず角田選手と対戦すると、みんな巴投げで投げられてしまう。

こういう状況を見て、金メダル取った後に、インタビュアーが角田選手に、対策をされているにもかかわらず、なぜ巴投げをかけられるのですかと質問しました。

その時の角田選手の答えは、対策の対策をしています。と、こういう答えでございました。

つまり、相手の予想をさらに上にいく対策をされている。こういうことなんだろうと思います。

これは柔道に限らず、あらゆるスポーツ、ビジネスにおいても当てはまることなのではないかと思えます。

この考えを、この総合計画審議会に考えますと、我々が戦う相手は誰になるのでしょうか、我々は誰に対して対策を取る必要があるのでしょうか、ということです。

これは市民になるのでしょうか。あるいは近隣の自治体でしょうか、あるいは国でしょうか。

何が我々の対戦相手かということを考えるときに、今、時代が、社会状況が、急激に変化していく中で、行政の在り方もそれに対応することが求められています。

要は、我々は「時代」と戦っているということなんだろうと思います。

「時代」の先を見据えて、それを考える会議にできればということが今日の一点目でございます。

もう一つ、今回のオリンピックで話題になったのが、最終日で話題になりましたブレイキンという、今回オリンピック新種目のものです。

これはブレイクダンス、ダンスで得点を競い合うこういう競技です。

このブレイキンの評価の基準は、多様性とか柔軟性といわれるものです。

今までのスポーツは、100m 走や砲丸投げとか、速さとか強さを競っているのがスポーツでした。

しかしブレイキンは、速さとか強さではなくてしなやかさ、柔軟性、独自性、そういったものが評価の基準になって、日本人が見事金メダルを取ったと、こういうことです。

要するに、スポーツの世界の評価の基準が変わってきているということなんだろうと思います。

この総合計画審議会においても、できるだけこの会で多様な意見が出てきて、他の自治体にはないような、独自性のある意見を出し合って政策を進めていくことが求められているのかな、ということを感じております。

まとめますと、「時代」の先を見据えて独自性のある山武市をいかに作っていくのかということが大事かな、というのを、オリンピックを見ていて感じた

ころであります。

今年度は現在の計画の進行状況の報告をされると事務局から伺っております。

これまでの山武市のまちづくり、また、これからの山武市のまちづくりについて考える大切な会議であると思います。

皆様の協力を得ながら、実現できる会議となることを祈念しまして、挨拶とさせていただきます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

【4. 市長挨拶】

ありがとうございました。

続きまして次第4「市長挨拶」でございます。山武市長の松下浩明からご挨拶申し上げます。

それでは皆様、こんにちは。

今日は台風のニュースが多く出ており、我々も非常に心配をしながら見ているところでございます。

そういう中ですけれども、皆様方にご出席いただきまして、本審議会が開催できましたことを大変嬉しく思っております。

この会は先ほど金子会長からありましたけれども、市の将来にとって非常に大事な会議でありまして、これをしっかりと作っていくことが大切であります。

金子会長の言葉をお借りしますと、私も常に自分で思っている信条がございまして、失敗には理由があると、成功には準備があるということは自分の中で常に思っておりまして、失敗もしましたけれども、やはりそういうことかな、というのを改めて自分がかみしめているところでございます。

皆様方とこうして会議を持って、そして市の将来を創っていく。

これは本当に大事なことでございますので、よろしくお願いいたしますと思います。

そして改選となった委員の方々には、総合計画審議委員会委員の委嘱状を机上という形で配布をさせていただきました。

そして、本審議会におかれましては、総合計画に基づくまちづくりを進めていく上で、その進行管理を担っていただくこととなりますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

第3次総合計画は令和5年度から令和8年度を計画の期間としておりまして、今回は初年度である、令和5年度の結果を皆様方にご説明をさせていただきますと思います。

総合計画はまちづくりの最上位の計画ですので、計画の進行管理に係る審議をしていただくこの会議は、重ねてになりますが、非常に大事な会議でござい

荒木総合政策部長

松下市長

<p>荒木総合政策部長</p>	<p>ます。</p> <p>本日は第3次総合計画について初めての審議会になります。</p> <p>事務局から評価結果を報告させていただきますので、多分野にわたる皆様方から忌憚のないご意見を賜りたいと考えております。</p> <p>より良い山武市のまちづくりに向けて、良い審議の場となることを祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。</p> <p>どうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>【5. 委員・職員の紹介】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第5「委員・職員の紹介」です。</p> <p>委員の皆様のご紹介でございますが、私からお名前を読み上げさせていただきます。その際、恐縮ではありますが、自席にてご起立をお願いいたします。</p> <p>では、事前に配布しております「委員名簿」の順にご紹介させていただきたいと思っておりますので、併せてご覧ください。</p>
<p>委員一同 荒木総合政策部長 事務局</p>	<p>1番小川真実委員です。2番金子光会長です。3番内山達也委員です。4番高橋一嘉委員です。5番の菊池光起委員につきまして欠席ということでご連絡いただいております。6番高田淳委員です。7番齊藤茂委員につきまして欠席ということでご連絡いただいております。8番相葉英樹委員につきましては、まだ出席いただいております。続きまして、9番川島由衣花委員です。10番大高衛委員につきましては、欠席のご連絡をいただいております。11番鈴木章浩委員です。続きまして、12番並木三喜男委員です。13番布留川芳子委員です。14番佐藤君江委員です。15番大国兼道委員です。16番高瀬茂利恵委員です。17番霧博文委員、18番佐瀬雅代委員につきましても、欠席のご連絡をいただいております。中嶋優子委員については、まだ出席いただいております。20番戸村進委員です。</p> <p>本日、現在13名の委員がご出席いただいております。</p> <p>総合計画審議会委員につきましては、20名の委員をお願いしているところでございます。</p> <p>続きまして職員の紹介をさせていただきます。</p> <p>職員につきましては、自己紹介ということでお願いいたします。</p>
<p>上大川副市長 内田教育長</p>	<p>副市長の上大川でございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>教育長の内田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>

渡辺総務部長	総務部長の渡辺でございます。本日はよろしくお願ひいたします。
竹宮保健福祉部長	保健福祉部長の竹宮でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。
藤田市民部長	市民部長の藤田でございます。よろしくお願ひいたします。
神谷産業振興部長	産業振興部長の神谷でございます。よろしくお願ひいたします。
並木建設環境部長	建設環境部長の並木でございます。よろしくお願ひいたします。
秋葉議会事務局長	議会事務局長の秋葉でございます。よろしくお願ひいたします。
今関教育部長	教育部長の今関でございます。よろしくお願ひいたします。
事務局 石田	事務局に移りまして、企画政策課長の石田でございます。よろしくお願ひします。
事務局 金ヶ崎	政策推進係長の金ヶ崎と申します。よろしくお願ひします。
事務局 青木	政策推進係の青木と申します。よろしくお願ひいたします。
事務局 村瀬	政策推進係の村瀬と申します。よろしくお願ひいたします。
インターン生 岩永	インターシップの実習生として参加させていただきます。岩永です。よろしくお願ひします。
荒木総合政策部長	以上が、山武市職員の紹介となります。 そして、私は、司会を務めます、総合政策部の荒木でございます。改めまして、よろしくお願ひいたします。
	「山武市総合計画審議会運営要綱」第2条に、「会長は、会務を総理し、審議会を代表する」と定められておりますので、以降の進行については、金子会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。
金子会長	【6. 議題】 新しい委員の方も改めましてよろしくお願ひします。 今日はインターンの若い学生がいらっしゃっていて部屋の空気が若干フレッシュな感じになっております。 それでは、早速ですが議題を進めて参りたいと思ひます。

<p>金子会長</p>	<p>会議に先立ちまして、「山武市総合計画審議会運営要綱」第4条には、「会議録を作成し、この経緯・結果について、出席委員のうち議長が指名する2人が署名しなければならない」と、定められております。</p> <p>こちらにつきましては、委員名簿の順に、各回順番にお願いしたいと思っております。</p> <p>では、昨年度までの署名の状況を踏まえまして、大変恐縮ですが、戸村委員、小川委員のお二人方をお願いいたします。</p> <p>なお、本審議会終了後、会議の結果は会議録としてまとめ、市ホームページ等で公開する予定となっております。各委員には、後日、事務局から会議経緯について確認依頼があると思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>【6. 議事（1）山武市総合計画の進行管理について】</p> <p>それでは、次第に従い、6. 議題に入らせていただきます。</p> <p>「（1）山武市総合計画の進行管理について」となりますが、事務局から資料に基づいて説明いただきたいと思います。</p> <p>その後、この議題に対する質疑応答を行うという形で、議事を進めていきたいと思っております。</p> <p>では、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 金ヶ崎</p>	<p>それでは、議題（1）山武市総合計画の進行管理について、ご説明させていただきます。着座にて失礼いたします。</p> <p>山武市総合計画は、平成20年度から第1次計画がスタートし、平成31年度から令和4年度までを第2次総合計画とし、現在の第3次総合計画は昨年度から令和8年度までを期間とし、市のまちづくりにおける最上位計画となっております。</p> <p>今回の会議では、第3次総合計画の初年度である令和5年度の評価結果の報告をさせていただきます。第3次総合計画として初めての実績報告にあたります。</p> <p>評価結果について、委員の皆様からご意見をいただき、これからのまちづくりに、活かしてまいりたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>はじめに、今回、新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、山武市の総合計画の構成、特徴について、簡単にご説明させていただきます。お手元に配布してございます、第3次山武市総合計画の冊子を用いてご説明させていただきます。</p> <p>8ページをご覧ください。</p> <p>こちらでは、「3. 総合計画の実現に向けて」として「(1) 行政経営（PDCA）サイクルに基づく計画策定・進行管理」について説明をしています。</p>

総合計画は、図の中心の三角形に示しているように、計画の上位から、基本構想、基本計画、実施計画の3つで構成されています。

山武市では、総合計画の進行管理に、計画 plan→実行 do→評価 check→改善 action の4つの過程で構成されるPDCAサイクルという、行政評価の考え方を取り入れています。

総合計画審議会は、条例の規定により「市長から諮問を受けた基本構想及び基本計画の策定又は変更に関する事項について調査審議し、その結果を市長に答申すること」及び「基本構想及び基本計画に基づく施策の進行管理に関する事項について調査審議すること」を所掌しております。冊子では99ページになります。

PDCAサイクルにおいては、「P・計画」と「C・評価」の項目の一端を担っていただいております。審議会からいただきました答申や意見に基づき、市が事業等を実行しております。

続いて、9ページをご覧ください。

「(2) 成果指標に基づく進行管理の方法」についての説明となります。

山武市の総合計画の特徴としては、「施策」「基本事業」「事務事業」の各階層それぞれに、「めざす姿」の達成度を、数値で測るモノサシとして、成果指標を設定し、施策や事業の達成度を、市民に分かりやすく「見える化」していることにあります。

本日は、このうちの基本計画を構成する「施策」と「基本事業」の評価結果の報告となります。

それでは、評価結果の報告に移らせていただきます。

ご覧いただく資料は、表紙の左上に【資料1-3】と書いてあります「第3次山武市総合計画重点分野成果状況一覧表」となります。

例年、事務局より施策・基本事業全般を説明し、委員の皆様にご審議いただいておりますが、昨年度の会議の際に、小川委員より、「重点分野を設定しているのであれば、重点分野について審議した方が良いのではないか」というご意見を頂戴しました。

事務局で検討させていただき、第3次総合計画は、始動したばかりであり、今後の政策反映がしやすい点などを考慮しまして、今年度は、重点分野についてご説明をさせていただくことといたしました。

表紙をめくっていただきまして、1ページをご覧ください。

資料の見方の説明を兼ねまして、施策1「地域核をネットワークする都市整備の推進」、基本事業3「駅周辺の利便性の向上」についてご説明いたします。

ページの上部左側に施策名、基本事業名、基本事業における取組内容を記載してあります。右側には、重点分野としての選定視点を示しております。こちらは総合計画書の42ページから45ページに掲載してあるものと対応しています。

中段には「基本事業の成果指標の実績」として、重点分野に設定されている基本事業の成果指標について、令和5年度の実績値、対基準値への評価、そして達成状況などを記載しています。「実績値 (R04)」と「対前年度」の欄については、第2次総合計画の期間となるため、それぞれ「空欄」と「アンダーバー」で統一となります。

対基準値の評価区分は、向上および、やや向上の横ばいが、晴れマーク。やや低下の横ばいが、くもりマーク。低下が、雨マークとなっています。比較不可のものについては「-」となっています。

「駅周辺の利便性の向上」の成果指標は「駅周辺の利便性に対する満足度(駅利用者のみ)」となっており、計画の目標値である、めざそう値は、64.0%ですが、令和5年度の満足度は64.3%で、基準値と比較して2.3ポイント増加し、第3次総合計画のめざそう値を達成したことがわかります。

要因といたしましては、毎年実施している市民アンケートにおいて、地区に鉄道駅のない蓮沼地域を除く各地域で一定数の満足度を得られており、成東駅南側の整備などを実施し、利用の定着化が図られたことで、満足度が上昇した要因であると考えられます。

評価欄の右側には、指標値の動きを折れ線グラフで示しています。グラフは、基準値を起点として令和8年度のめざそう値まで赤の点線でまっすぐ結んだものと、水色の実線は実績値を表しています。

達成状況は、めざそう値を達成できましたので「達成」としています。

達成状況については、「達成」「高」「中」「低」の4段階で評価を行っています。4段階評価のおおよその基準は、「達成」はめざそう値を達成したもの、「高」は、めざそう値の75%以上、「中」は50%から75%、「低」は50%未満としているところです。

また、第3次総合計画期間の4年間の累計を指標としている場合は、4年かけてめざそう値を達成することとしているため、計画初年度である今回の評価は事業が順調であっても達成状況が低くなる場合があります。

ページの下部には、「駅周辺の利便性の向上」を達成するために、市が取り組む、実際の事務事業の実績などを示しています。事務事業の指標が好転していけば、その上位にあたる基本事業の指標も好転し、さらには施策の指標も好転していくという好循環ができるように、事務事業の見直しも実施しています。

それでは、他の重点分野について基本事業の取組内容と成果指標、その達成状況を中心にご説明させていただきます。

ページをめくっていただいて、2ページをご覧ください。

1-1-5「まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用」です。

土地の利活用に関する整備方針を作成し、土地利用や宅地開発等の促進、企業進出の受け皿づくりを進めています。指標は2種類設定しています。

「空家改善数（計画期間累計）」の達成状況は「中」です。空家対策により空家の改善に至ったケースが増えたことが要因と考えられます。

「景観条例指導件数」の達成状況は「達成」となっています。事前協議を丁寧実施したことで、景観条例を逸脱するような行為を未然に防ぐことができたことが要因と考えられます。

3 ページ、1-2-1 「市内における交通手段の確保」です。

地域公共交通に係る各交通手段の相互連携や利便性の向上に取り組んでいます。指標は2項目設定しています。

「市内公共交通利用者数（基幹バス、乗合タクシー、運行支援路線バス等）」の達成状況は「達成」となっています。コロナ禍で減少していた観光客が戻ってきていることが要因と思われます。

「バス運行状況の満足度」の達成状況は「低」となりました。民間事業者による路線減少による影響が要因と考えられます。

4 ページ、1-3-4 「強靱化対策の推進」です。

行政機関や指定避難所等へ、停電対策を検討し、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。

指標は「国土強靱化地域計画実施計画の事業完了数（計画期間累計）」で、達成状況は「中」です。各事業が適切に進捗管理されていることが要因です。

5 ページ、2-2-1 「地域脱炭素化の推進」です。

家庭や事業所での省エネに関する啓発、再生可能エネルギーの利用促進などに取り組んでいます。指標は4項目設定しています。

「再生可能エネルギーの導入量」、「山武市役所における温室効果ガス（CO₂等）排出量」、「木質バイオマス発電の燃料として活用された木材量」の3指標の達成状況が「低」となり、「省エネへの生活様式平均実践項目数」の達成状況は「中」となっています。

「山武市役所における温室効果ガス（CO₂等）排出量」は市の事業が増加したことで増えています。

「省エネへの生活様式平均実践項目数」は市民の省エネ意識の向上により増加しています。

1 ページ跳んで7 ページ、3-1-2 「担い手の育成・支援」です。

農業の持続的な発展に向け、担い手不足の解消や農地の集約化などに取り組んでいます。指標は2項目設定しています。

「農用地利用集積率」の達成状況は、増加傾向ではありますが、「低」とな

りました。

「新規就農者数（計画期間累計）」の達成度は「中」ですが、5人増加し順調に推移しています。

8 ページ、3-1-5 「森林再生の推進」です。

山武市森林整備計画に基づき森林整備を推進するとともに、サンプスギのブランドの価値を高める取組を推進しています。指標は2項目設定しています。

「森林整備事業年間実施箇所数」の達成状況は「達成」となりました。

「市補助制度を活用し、搬出された木材量」の達成状況は「低」となり、小規模な森林整備が増加したため、搬出量は低下しています。

9 ページは3-2-1 「経営体の体質強化・育成と市内消費の推進」です。

市内の中小企業等の経営体質を強化することで、地域経済の活性化及び地域の雇用の増加に取り組んでいます。指標は3項目設定しています。

「市内で日用品や食料品を買う市民の割合」の達成状況は「高」となりました。地域内で使用するクーポン券の利用により、向上したものと思われます。

「新規法人登録件数（計画期間累計）」の達成状況は「低」ですが、単年度の増加数は期待値を超えています。

「法人市民税の増加事業所割合」の達成状況は「達成」しました。企業業績が回復傾向にあると思われます。

1 ページ跳びまして11 ページ、3-2-2 「工業の振興」です。

成田空港の機能強化や圏央道の全面開通を活かし、企業誘致に取り組んでいます。指標は2項目設定しています。

「市内工業団地の従業者数」の達成状況は「低」となりましたが、若干ながらも増加しています。

「従業員一人当たりの製造品出荷額（4人以上の事業所）」は議題（2）「指標の変更について」で別途説明をさせていただきますので、割愛させていただきます。

12 ページ、3-2-3 「成田空港経済圏の形成」です。

成田空港や成田空港関連企業への就業者の増加を図ることで、山武市への定住促進に取り組んでいます。指標は2項目設定しています。

「成田空港周辺自治体としての取組件数」の達成状況は「低」となっていますが、計画通り1事業を新規事業として開始しました。

「成田空港内で働く市内従業員数」の達成状況は「低」となっています。調査実施時期が、従業員数の減少している令和4年2月であったことが要因と思われます。

13 ページ、3-3-1 「魅力ある観光事業の推進」です。

千葉県と協力し、蓮沼海浜公園の再整備を進めることで、地域への誘客の促進と持続的な観光振興に取り組んでいます。指標は3項目設定しています。

「主要施設の年間来客者数（オライはすぬま、さんぶの森公園、蓮沼海浜公園）」の達成状況が「低」、「広域（県）、民間事業者との連携事業数」、「体験型観光利用者数」の達成状況がそれぞれ「高」となっています。

全ての指標が観光に関する指標であり、コロナ禍からの回復期であるため、当初よりも上昇傾向となっています。

14 ページ、4-1-1 「生きがいくくりと介護予防の推進」です。

介護予防対策を継続実施することで、将来的な社会保障費の低減に向けて取り組んでいます。指標は3項目設定しています。

「社会参加している高齢者の割合」の達成状況は「中」、「生きがいを持っている高齢者の割合」の達成状況は「低」、「要支援・要介護認定者の新規該当者の平均年齢」の達成状況は「高」となっています。

「社会参加している高齢者の割合」と「要支援・要介護認定者の新規該当者の平均年齢」については、コロナ禍からの活動の再開に伴い、順調に推移していますが、「生きがいを持っている高齢者の割合」については、状況は改善しつつも低調な結果となりました。

1 ページ跳んで 16 ページ、4-3-1 「心身の健康管理の充実」です。

すべての市民が自ら健康づくりに取り組む環境の整備に取り組んでいます。指標は2項目設定しています。

「1人当たりの健康づくり取組項目数（全12項目中）」の達成状況は「低」となりました。30代から40代の取組状況が低下したことが要因となっています。

「人口10万人当たり自殺率」の達成状況も「低」となっています。例年は、健康問題が主な要因でしたが、物価高騰などによる経済・生活問題が増えたことが要因と考えられます。

17 ページ、4-3-6 「医療体制の充実」です。

さんむ医療センターの新病院を計画通りに供用開始することで、近隣の医療機関や介護施設と連携し、切れ目ない医療の提供に取り組んでいます。指標は2項目設定しています。

「かかりつけ医を持っている市民割合」、「休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合」の達成状況がともに「低」となりました。市の情報発信が不足していることが要因と考えられます。

18 ページ、4-4-6 「次世代育成に係る家族形成の支援」です。

家族形成に対する意識の醸成と結婚・出産・子育てのしやすい環境づくりに取り組んでいます。指標は2項目設定しています。

「出生者数（計画期間累計）」の達成状況は「低」となっています。国全体で出生者数が低下しており、当市も増加が難しい状況です。

「結婚する意欲のある独身者の割合」の達成状況は「高」となりました。コロナ禍からの回復による社会活動の増加によって、意識が好転したものと思われます。

19 ページ、5-1-5 「教育環境の整備」です。

少子化の影響により、児童・生徒数の減少が見込まれることから、教育環境・施設の整備に取り組んでいます。指標は3項目設定しています。

「学校施設の不具合による学校生活支障件数」、「安全な給食を確実に提供できなかった件数」、「複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数」の達成状況は、すべて「達成」となりました。

学校統合・施設整備などを計画的に実施していることで、教育環境を維持できたことが要因と考えられます。

22 ページ、6-2-3 「市の魅力発信の強化」です。

様々な媒体を通じて効果的に市の魅力を発信することで、山武市への関心を高め、観光客や移住者等の増加に取り組んでいます。指標は2項目設定しています。

「SNS 等による市からの情報発信件数」の達成状況は「低」となりました。公式 YouTube の視聴回数が低迷したことが要因となっています。

「市の魅力に賛同している支援者・フォロワー数」の達成状況は「高」となりました。ふるさと納税寄附者やエックスのフォロワーが増加したことによるものです。

23 ページ、6-3-3 「健全な財政運営」です。

人口減少や高齢化、社会環境の変化に対応しながら、公共サービスを支える健全な財政運営に取り組んでいます。指標は3項目設定しています。

「経常収支比率」、「実質公債費比率」、「経常経費に占める一般財源の割合」の達成状況は、すべて「達成」となりました。

「経常収支比率」は基準値よりも上昇していますが、目標値を下回る財政運営ができました。

24 ページ、6-3-5 「公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進」です。

公共施設等総合管理計画に基づき、人口や財政規模に合わせた公共施設の適正化に取り組んでいます。指標は2項目設定しています。

「市保有の土地活用率」の達成状況は「達成」となりました。未利用地の貸付・処分などを行ったことが要因です。

「公共施設維持管理費」の達成状況は「低」となりました。人件費の増加などにより、維持管理経費が増加したことが要因です。

最後、25 ページ、6-3-6 「自治体DXの推進と市民サービスの向上」です。

市役所業務へのデジタル技術の導入によって、市民の利便性や満足度の向上と行政運営の効率化に取り組んでいます。指標は2項目設定しています。

「市のICTサービスを利用している市民の割合」、「ICTを活用した行政サービス・行政事務の改善件数及び新規導入件数（計画期間累計）」の達成状況が、ともに「低」となりました。

「市のICTサービスを利用している市民の割合」は、10代と70歳以上で低いことから、ニーズの不一致や高齢者のデジタルデバインドが要因と考えられます。

以上20の基本事業が、第3次総合計画の重点分野として設定したものととなります。

続きまして、左上に【資料1-2】と記載しております、「第3次山武市総合計画 令和5年度施策・基本事業評価結果」をご覧ください。

こちらの資料は、さきほど説明いたしました重点分野を含むすべての施策・基本事業について、施策を取り巻く環境変化と課題、成果指標、施策の内容と達成状況などが記載された資料となりますが、本日は時間の都合上、事務局からの説明は割愛させていただきます。ご了承願います。

続きまして、左上に【資料1-1】と記載しております、「第3次山武市総合計画の達成状況（暫定版）[令和6年8月現在]」の、A4 ヨコ、1枚紙の資料をご覧ください。

こちらの表は、第3次総合計画6政策の、23施策に設定してある41指標、さらにその下の、104の基本事業に設定してある205指標の目標達成状況を、一覧に示したものでございます。

表をご覧くださいと、左側から政策名、そして政策ごとに 施策、基本事業、基本事業のうちの重点分野の3段書きとなっており、それぞれの指標数、令和5年度の目標達成度、達成率を記載しています。

達成度の欄の「-」としているところについては、達成度の評価ができない指標となっており、現時点で指標値が取得できていないものも含んでいます。

表のいちばん下、合計の行をご覧ください。

令和5年度の施策の成果指標で、「達成」となったものは6指標で、達成率は14.6%です。

	<p>基本事業の成果指標については、「達成」が 58 指標、達成率は 28.3%となっています。</p> <p>重点分野については、「達成」が 12 指標、達成率は 26.7%となっています。</p> <p>4 年計画の初年度であることから、目標達成度は全体的に低めな状況となっております。</p> <p>また、重点分野として設定した基本事業については、市の経営資源を重点的に配分するなど、メリハリのある行財政運営を進め、総合計画で掲げる政策の実現に向けて、市民のみなさまとともに、取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>なお、本日、ご説明させていただいた、令和 5 年度の評価結果につきましては、最終的な取りまとめをいたしまして、まちづくり報告書として、ホームページ等で公開をする予定でございます。</p> <p>説明は以上となります。よろしくお願いいたします。</p>
金子会長	<p>事務局から、資料に基づき（1）山武市総合計画の進行管理について、説明がありました。</p> <p>こちらは、第 3 次山武市総合計画の初年度の結果について報告があったところです。</p> <p>委員の皆さま方から、ご不明点等があればお受けしたいと思います。</p> <p>ご質問を中心に、何か確認したい事柄がございましたら、挙手のうえ、ご発言をお願いします。</p> <p>では、小川委員をお願いします。</p>
小川委員	<p>資料 1 - 3、第 3 次山武市総合計画の重点分野成果状況一覧表について確認したいことがあるので、ご質問させていただきます。</p> <p>25 ページの「自治体 DX の推進と市民サービスの向上」という箇所です。</p> <p>基本事業の成果指標の実績は、このような結果になっているのですが、それをさらに進めて事務事業の成果指標を見てみると、証明書等コンビニ交付構築事業という事業があります。</p> <p>コンビニで証明書が取れると、これの件数が令和 3 年と令和 5 年で比較すると倍増になっています。</p> <p>こういったコンビニで証明書を取られている方の姿をもし把握しているのであれば、ちょっと伺ってみたいなど、一般の方じゃなくて、事業者の方のような気がするのですが、その理解でいいのかご存知でしたら教えてください。</p>
金子会長	<p>では、事務局をお願いします。</p>

事務局 青木	<p>質問いただいた証明書のコンビニ交付ですが、マイナンバーカードを利用した制度でございまして、基本的には個人しか使えないものとなっております。</p>
事務局 石田	<p>補足させていただきます。</p> <p>実際事業者の方が利用されているのではないかとという部分で、印鑑証明等については車の売買等で事業者の方が使われる場合が多くございます。</p> <p>マイナンバーカードの普及に伴いまして、山武市の場合はコンビニ交付で住民票や印鑑証明を発行する分については手数料が100円安く、通常300円のを200円で交付しているという状況もありますので、そういった部分で証明書のコンビニ交付の件数が増加しているのではないかと推測しています。</p>
小川委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>これはやってよかったという事業になりますね。</p> <p>であれば、もうちょっと強調してほしいなと思って、せっかくこれだけ倍増という実績を上げているんだったら、強調していただけると、委員としてもプラスのコメントがしやすいなと思っていました。</p>
事務局 石田	<p>現在のコンビニ交付と併せて、山武市のデジタル化への取り組み推進としまして、デジタル化にあたり、デジタルデバイトという言葉がございます。</p> <p>情報格差をどう埋めていくかという部分で、現在コンビニ交付を担当している市民課等で、コンビニに置いてある、キオスク端末を市民課の窓口を設置しまして、この操作方法等について職員が案内しながら、コンビニ交付の普及に努めて、これまでコンビニ交付を利用したことのない方についても、コンビニ交付ができるようにして、なるべく対面での交付手続きではなく、ご自身のマイナンバーカードを使って証明書を取っていただく、という取り組みを推進していくことで、デジタルデバイトの対策というものも進めていきたいと考えております。</p> <p>現在の取り組みの状況としてはそういった状況でございます。</p>
金子会長	<p>高瀬委員お願いします。</p>
高瀬委員	<p>今日、来る前に、まさにコンビニで証明書を取ってきたんですけども、窓口には並ぶよりは、コンビニの方が空いているのと、200円で取れるので、私は結構使うんですけども、あまり使っている人を実際に見たことがない。</p> <p>年齢が親世代になってしまうと、やはりマイナンバーカードをコンビニで使うことに抵抗があったり、どうしても市役所に来て手続きした方が安心感があるという方が多いと思っていて、そこで本当に全ての世代に周知できているかというのはちょっと疑問には感じます。</p>

金子会長	市民部長をお願いします。
藤田市民部長	<p>市民部長の藤田です。</p> <p>ご指摘のとおり、本当に周知が足りているのか、というところに関しては、それが至らないところがあると思います。</p> <p>先ほど企画政策課長から報告がありましたとおり、市民課で本庁舎内にキオスク端末を置くということで、現在進めています。</p> <p>10月に稼働する予定で、今着々と進めているところです。</p> <p>そういったところで、利用いただくという機会が自治体でも広がって、さらにその先、コンビニでの証明書を取得というところがどんどん広がっていけばなというように考えておりますので、引き続きしっかりと周知ご利用案内ということで努めてまいりたいと思っております。以上です。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では大国委員をお願いします。</p>
大国委員	<p>資料1-1の達成状況の話ですが、4年計画の初年度であるということで、施策は41に対して14.1%ということでございます。</p> <p>4年の初年度なので、4分の1ぐらいで来ているところがいいのかなと思うんですが、令和5年度の実績値とめざそう値は令和8年度になっています。</p> <p>今、ちょっと教えていただきたいのは来年、例えばこの中の1つの施策がめざそう値に届かなかつたら達成できないという表記なのか、今後毎年令和8年度まで、どのように表記される予定なのかというところで、どう見ればいいのか。</p> <p>今年はこれだけ、4分の1ぐらいは行きましたということで、今年は良かった。来年、その同じ施策が令和8年度のめざそう値に届かなかつたとか、そんなこともあるかなと思うんですけど、その辺はどういうふうに見ればいいのか教えていただければと思います。よろしくをお願いします。</p>
金子会長	金ヶ崎副主幹をお願いします。
事務局 金ヶ崎	<p>事務局の金ヶ崎と申します。</p> <p>先ほどの説明で申し上げた通り、総合計画は1年ごとの単位で、進行管理をしています。</p> <p>最終的に、計画期間の終わりで全ての政策が、理想でいけば令和8年度が終わった後、令和9年度に評価する際に全ての達成率が100%になっている、というのが理想型となります。</p> <p>もちろん達成できないものもございますので、特に累積の指標は先ほど説明</p>

	<p>したように令和8年度で100%になるので、初年度で同じペースでいかないことも想定されます。</p> <p>グラフでご説明しますと、赤の点線は成り行きで4年間全く均等に進行した場合を示しております。</p> <p>ですが、例えば建設工事など最初の年に設計をやって、工事やってとなると、進捗率というのは最初が低く、後半が増加していきます。グラフの書き方というのが出てくるので、最終的には令和8年度で100%になるようにしながら、途中でこの進行管理をしながら、進行が遅れているようであればテコ入れをしていくとか、そういう形で見いただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>大国委員</p>	<p>大変よくわかりましたありがとうございました。</p>
<p>金子会長</p>	<p>ほか、質問のある方、よろしいでしょうか。</p> <p>では、高橋委員お願いします。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>資料1-3の22ページ「開かれた市政とまちの魅力発信」という項目ですけれども、市の魅力に賛同している支援者・フォロワー数ですが、かなり増えているんですが、原因分析では、ふるさと納税の寄附者数が令和4年度から相当増えていることと、Xのフォロワー数も増加していることが要因になっていると書かれているんですけれども、下の事務事業の成果指標の実績をみると、ふるさと納税推進事業の件数はかなり増えている。</p> <p>これは良いことなんですけれども、Xのフォロワー数が増えたから増えたという関連があるものなのか、それとも別に対策等を実施したものなのでしょうか。</p> <p>あるいはこの令和3年度と令和4年度に比べてみて、その前、コロナ時期というのがあって、それ以前はもっと件数があったというような感じになるのでしょうか。</p> <p>ふるさと納税の実績がかなり増えているということについて確認させていただきたいと思います。</p>
<p>金子会長</p>	<p>荒木総合政策部長お願いします。</p>
<p>荒木総合政策部長</p>	<p>総合政策部 荒木でございます。</p> <p>ふるさと納税につきましては、令和3年度の実績が2,400万円程度となっております。</p> <p>それまでの間は、ある程度同じような数値で推移しておりました。</p> <p>令和4年度から令和5年度で増えているのは、商工会や観光協会といった団体にいろいろなご協力をいただきながら、ふるさと納税の返礼品の発掘、開発</p>

	<p>ということで、品数をかなり増やさせていただきました。</p> <p>あと、ふるさと納税をしていただく上で、「さとふる」や「楽天ふるさと納税」といった、中間事業者、サイトを増やすことによって、メディアとかそういったところの目に触れる機会を多くしたということが、ふるさと納税の増加につながっていったと考えております。</p>
高橋委員	<p>ありがとうございました。</p>
金子会長	<p>他、質問がある方、よろしいでしょうか。</p> <p>では、内山委員お願いします。</p>
内山委員	<p>それでは私の方から、13ページの「魅力ある観光事業の推進」、観光にかかわる項目についてお伺いします。</p> <p>観光事業の推進という中で、達成度が高となり、コロナ禍明けで観光入客が進んでいるということなのですが、コロナの時期を基準にしてしまうと当然増えてくるものだと思うんですが、それ以前に比べてこの状況というのは、ちょっとこの基準値が私不勉強で、どの時点なのかが把握していないんですけども、どのような伸びがあるのか、今後を見据えて、コロナ前の状況を比較してみるとどうなのか、1点お伺いします。</p> <p>また、もう1つ、公共交通について、3ページになるんですが、こちらで公共交通のバスの利用者が増えているということ。</p> <p>基準値を達成しているということですが、こちらもですね。</p> <p>観光シーズン夏の時期に利用者数がちょうど基準値から伸びた数値と海岸線利用者数がほぼ同じくらいに出ているということですが、公共交通機関、特に二次交通は非常に観光にとっても大事な点だとは思いますが、千葉県では、自動車利用者というのが非常に多いと思うんですが、ここがこのようにバス利用というのが伸びているというのはこれも以前と同じような形なのか。</p> <p>あるいは、このコロナが明けて公共交通を利用して観光客が増えてきているのか。</p> <p>これは恐らく、今後インバウンドとか自動車を利用していない市内観光客が訪れるかということにもつながってくるかなと思ったので、これが増えてきているのは通常に戻ってきたのか、あるいは何か特別な理由があるのかというのをちょっとお聞きしたいなと思ったところです。</p>
金子会長	<p>金ヶ崎副主幹お願いします。</p>
事務局 金ヶ崎	<p>事務局の金ヶ崎です。</p> <p>今の内山委員からの質問のうち、前段の部分だけ、事務局からお答えさせていただければと思います。</p>

	<p>こちらの基準値というのは令和3年度の実績になります。</p> <p>総合計画が令和4年度に作成した関係で、その時点で押さえている数字が原則令和3年度となっています。</p> <p>なお、統計の数字等、把握できるタイミングにタイムラグがあるものについては、一部令和2年度のものを使っていますが、原則令和3年度で統一しています。</p> <p>よってコロナでかなり下がっているときを基準としておりますので、特に観光など、その後に第5類の感染症になったりしているものであり、上がって当然というようなところもあるんですが、総合計画の策定期限の関係もございまして、そのような指標として全般的に設定させていただいているので報告させていただきます。</p>
内山委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>そうすると、もちろんそれはいいと思うんですけども、最終的な目標値というのは、コロナ前より増えているということになりますでしょうか。</p>
金子会長	<p>では、青木主査補お願いします。</p>
事務局 青木	<p>事務局の青木です。</p> <p>前計画の第2次総合計画のものよりも最終的な目標値は、減少しているものが多くっております。</p> <p>基本的には、コロナ前に戻したいということで策定しておりますが、完全に切り切るといふところまで達成できるかということ、ちょっとそれも難しいだろうということで、第2次総合計画を作るときの数値に戻したいという形ですけども、届ききらない目標になっているものが多くございます。</p> <p>また、観光の指標に関しましては、指標が変わっているものもあるので、一概に比較がしにくい状況ですが、例えば「広域（県）、民間事業者との連携事業数」ですと、18件が第2次の目標値であり、そちらに戻していくというような指標となっております。</p> <p>主要施設の年間来客数は新規の指標となるので、比較ができないんですけども、「体験型観光利用者数」に関しましては、第2次の目標値が29万2500人となっております、今回60万人という値が目標になっております。目標値が大きく異なるのは、対象者のカウント方法が変わっているものがあるので、ちょっと参考にはならないんですけども、そういった形で指標を設定させていただいております。</p>
内山委員	<p>わかりました。</p>
金子会長	<p>石田課長お願いします。</p>

事務局 石田	<p>公共交通の路線バス、基幹バスの利用者数の状況についてお伝えさせていただきます。</p> <p>基幹バスについては、堅実に利用者数は伸びているところでございます。</p> <p>一方で、路線バスにつきましては、増えてはきてはおりますが、コロナ禍前の利用者の状況に戻っているかという、さすがにコロナ禍前の状況までは復活してきていない、というのが実際の状況でございます。</p> <p>路線バスについて、利用者をもっと伸ばすための施策としまして、今年度から、海岸線というバス路線で、蓮沼方面に走っている路線バスにつきまして、子ども運転席という運転席の後ろにモニターとハンドルを設置しまして、運転手からの眺められる景色の様子を、子どもがハンドル操作とともに路線バスの運転席の様子を体験できるというものを1台設置し、少しでも利用をしていただくというそういった試みをしているところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
内山委員	<p>はいありがとうございます。</p> <p>今後のポテンシャルは、まだまだあるかなと思っていますので、順調に回復しているというのはすごく良いことかなと思っています。</p> <p>公共バスなど、例えば、最近サイクルツーリズムなどで自転車を活用している方もいて、そういう方が実は例えばバスに乗りやすくなるとか、そうすると電車とバスで観光資源を回ってバスに帰ってくるということも可能かなと思ったところなので、バスがより活用できると思われるのかな、と思います。以上です。</p>
金子会長	<p>今、観光についてお話しありましたように、観光協会鈴木委員、何か質問があれば、お願いいたします、</p>
鈴木委員	<p>ありがとうございます。観光協会の鈴木でございます。</p> <p>やはり、コロナがありましたので、地域観光は落ち込むな、というところはまさにそのとおりだったと思います。</p> <p>昨年からだいぶ、5類に移行ということで、雰囲気としても、冬のイチゴ狩り、蓮沼の大型レジャープールであったり海水浴場であったりというところのにぎわいは前に近い状況まで戻ったのかな、というような雰囲気でございます。また、今年9月あたりの観光協会の理事会でも、その辺、各業界業種がどうなっているのかというところを皆様の生の声を聞きたいなどはっております。</p> <p>ただ、やはり、海の観光というところで皆様もご存じかと思いますが、暑さが非常にきつい状況が年々ありまして、例えばこの間ネットのニュースで私が見たのは、三浦海岸では、30年前は280万人以上の観光の利用があ</p>

金子会長	<p>ったところが、昨年は8万人しか来ていないということを考えると、ここ数年というところを見るよりは、長い目で業界を見る必要があるのかな、というふうに感じました。</p> <p>そうなってくると、やはりこの地で観光の一つがある海水浴場というものもあり方なのか、私たち事業者としても今後どうするかというところを考えていけないといけないかな、というふうに感じております。</p> <p>今の状況ですけれども、まだまだ皆さまとともに地域観光はご協力いただきたいなと思いますので、どうぞ、よろしく申し上げます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>他に質問がある方、ぜひぜひお願いいたします。</p> <p>では、並木委員お願いします。</p>
並木委員	<p>資料の4-1-1のところ、14ページ、高齢者福祉の充実というところで指標の3番、要支援・要介護認定者の新規該当者の平均年齢、これが実績が高という評価になっておるんですけれども、元気な高齢者、健康寿命が伸びているという部分では非常に喜ばしいことなんですけれども、ただ以前、別のデータ周りから見たら、平均寿命は山武市の場合に県だとか、近隣の市町村に比べて平均寿命が短いというようなデータを見たことがあったんですけれども、結局、健康寿命が長いけれども平均寿命が短いというふうに捉えてよろしいのか、あるいはここで1.3歳健康寿命が増えているということはその分も健康寿命そのものが増えてきているというふうに捉えていいのか、ちょっとわかりましたら教えてほしいなと思うんですがよろしいでしょうか。</p>
金子会長	<p>では、竹宮保健福祉部長お願いします。</p>
竹宮保健福祉部長	<p>保健福祉部長の竹宮です。よろしくお願いいたします。</p> <p>並木委員さんからのご質問ですけれども、具体的なデータというのはしっかり持ってはいないのですが、現在、一般介護予防事業ということで、筑波大学と共同で転倒骨折予防事業など行っております。</p> <p>また、すこやかクラブでの運動教室も行っております。</p> <p>そういうところの参加者が、コロナ後に徐々に現在回復しておりますので、そういった意味で、はっきりしたデータはございませんけれども、健康寿命としては伸びてきているのだらうと思います。</p> <p>ただ一般論として、委員がおっしゃったように県に比べて平均寿命が短いというところ、具体的なデータも持っていない状況でございます。</p>
並木委員	<p>ありがとうございました。私も実は、後期高齢者を超えています。</p> <p>今、ゴールドクラブで毎週1回、寝たきりにならないための転倒予防防止の</p>

筋トレを毎週やっています。

だから、そうすると少しは伸びるかな、と期待をしておるんですけども、結局健康寿命が伸びるということは、それだけ医療費もかからないということになってまいります。

ただ、山武市がもしも介護認定等の申請が、何か他の要素があって遅くなっておって、申請して介護認定受けたと、そうしたら結局寿命そのもの、平均寿命が短かったというようなことになると。これはどこかに問題があるかと思えますので、とにかく健康寿命が伸びた、平均寿命も伸びたというようなお話し向きのようなデータがあると、我々も先々希望が湧くんですけども、そんなようなデータがあったら、また示していただけたらな、というように思います。

とにかく健康な元気な高齢者を我々も作っていこうと思っておりますので、よろしく願いいたします。

竹宮保健福祉部長

ご提案ありがとうございます。

具体的なデータはないという状況でしたので、もっといろいろなデータ収集に努めたいと思っております。

また、この指標ですね、要支援・要介護認定者の新規該当者の平均年齢というところでございますけれども、申し上げましたとおり、介護予防や、健康教室ということで平均年齢の引き上げになりますけれども、それ以外にも地域性の中で、山武市は実際の介護施設に入所される方、介護度3以上の方が入所する対象となっておりますが、介護度3になっても施設に入らない方が比較的いらっしゃいます。

大体4とか5になって病院から紹介されてという形で入るケースも多くて、地域での助け合いというか、地域の輪というのは、比較的充実している地域なのかなと思っております。

そういったところも活かしながら、保健福祉部の方では、より高齢者の方皆様の健康寿命を増やしていけるような施策に取り組んでおりますので、引き続きご協力の方、よろしくお願いいたします。

金子会長

はい、新しく委員になられた方で、何か質問がありましたら、お願いします。よろしいですか、大丈夫ですか。

全体としても質問はよろしいでしょうか。

それでは以上を先に進めさせていただきたいと思えます。

なお、この他にご質問がある場合には、別途、事務局でお受けさせていただきますので、申し訳ありませんがご了承願います。

【6. 議題（2）指標の変更について】

金子会長

では、続きまして「（2）指標の変更について」に移らせていただきたいと思います。

<p>事務局 石田</p>	<p>それでは事務局から、説明をお願いします。</p> <p>それでは、議題（２）指標の変更について、ご説明させていただきます。 資料番号が前後しますが、【資料２－２】「経済構造統計の体系的整備の進展」をご覧ください。</p> <p>こちらは、経済産業省が公表している資料となります。</p> <p>資料の右側が2019年以降の流れが示されており、図の一番下の「工業統計調査」が令和3年度の「経済センサス 活動調査」の前でなくなっていることが分かります。</p> <p>第3次総合計画の指標を決める際には、令和2年度に実施された「工業統計調査」の調査結果が令和3年度に公表されており、その数値をもとに基準値を設定いたしました。</p> <p>しかしながら、令和3年度の「経済センサス 活動調査」を境に、「工業統計調査」が「経済構造実態調査」の一部として実施されることとなりました。</p> <p>「経済構造実態調査」においても、同一の数値が公表されていれば、指標の取得が可能でしたが、調査対象から「4人以上の事業所」という条件がなくなっており、同じ数値を取得することができなくなりました。</p> <p>第3次総合計画の初年度ということもあり、最初から最後まで指標を取得不能とするよりも、代替の指標を用意して今後、進行管理させていただきたいと考え、指標の変更を提案させていただきました。</p> <p>経緯は以上となります。</p> <p>では、【資料２－１】「指標の変更について」をご覧ください。</p> <p>こちらに、変更前の成果指標と算定式、目標値の設定理由と変更後の案をお示しております。変更点は赤字部分となります。</p> <p>まず、下段の算定式をご覧ください。</p> <p>指標の出典については、「工業統計調査」が「経済構造実態調査」に含まれたため、後継となる「経済構造実態調査」から取得したいと考えております。</p> <p>「経済構造実態調査」では「参考. 市区町村別統計表（産業中分類）」で市町村別のデータが公表されています。</p> <p>変更前の算定式を踏襲し、「製造品出荷額等」を「従業者数」で除したものを、今後の指標として設定したいと考えております。</p> <p>そのうえで、令和4年度（2022年度）に実施されたものを基準値に設定し、めざそう値は、変更前の増加率が年間0.18%であったため、毎年0.18%加算を行い、数値目標として設定したいと考えております。</p> <p>資料の上段をご覧ください。</p> <p>ご説明差し上げた方法で算出した基準値等は、記載のとおりとなっております。</p> <p>基準値は5,436万6千円で、製造品出荷額等1,430億3,817万円を従業者数</p>
---------------	---

	<p>2,631人で割った数となっています。</p> <p>めざそう値は、5,476万1千円となります。</p> <p>また、令和5年度の数値については5,923万円となりました。製造品出荷額等1,612億2,567万円を従業者数2,722人で割ったものです。</p> <p>それに伴いまして、対基準値は「向上」、目標達成度は「達成」となります。</p> <p>状況の分析につきましては、「指標の変更」がご了承いただけましたら、担当課にて実施していただく予定です。</p> <p>なお、分析結果については、「まちづくり報告書」にてお示しさせていただきます予定です。</p> <p>説明は以上となります。よろしくお願いいたします。</p>
金子会長	<p>事務局から、資料に基づき（2）指標の変更について、説明がありました。</p> <p>第3次総合計画の初年度の結果報告にあたり、取得ができない指標があったということで、今年度以降は取得不能とするのではなく、別の指標を設定し、報告していきたいということでした。</p> <p>ご質問やご意見、何か確認したい事柄がございましたら、挙手のうえ、ご発言をお願いします。</p> <p>小川委員をお願いします。</p>
小川委員	<p>指標の変更に際してなんですけど、山武市の産業特性に合わせて、次の時代も見据えて、この指標を採用し続けるということが妥当なのかどうか確認させてください。</p> <p>補足説明をすると、圏央道の芝山トンネルが開通して、圏央道全体がつながるといふ現実味を帯びてきました。さらには成田空港第三滑走路の開港も控えています。</p> <p>そうなった時に山武市が、国や千葉県がやっている開発事業にうまく乗っかるような形で、山武市の産業振興を図っていくとした時に、企業誘致も含めて、そういう攻めの施策を講じた時に、果たしてこの指標でいいのかどうか、というのがちょっと気がかりなので思っているんです。</p> <p>今回指標の変更がデータの継続性が保てないから違うものを代替するという事なんですけれども、もう少し検討されてもいいんじゃないかなと思っていますよ。</p> <p>できれば圏央道ないし、成田空港から見てもうちょっと付加価値の高い産業を引っ張り込めたらな、というふうに私は考えるんですよね。</p> <p>だから、ここで今決めなきゃいけないものなのかも含めて、事務局の方で検討していただければなと思うんですけれども、いかがでしょうか。</p>

<p>荒木総合政策部長</p>	<p>総合政策部の荒木です。</p> <p>今、小川委員がおっしゃられたとおり、成田空港の機能強化であったり、圏央道の全面開通ということ控えておりました、県の方でも地域未来投資促進法を活用し企業誘致を進めております。</p> <p>市でも空港の機能強化とか圏央道の開通に合わせて、はにわ道とかあの辺が中心になってくると思うんですけども、企業誘致は、進めていかなきゃいけないと考えております。</p> <p>ただ、それが今、施策として細かいものとして形になっていないので、今後庁内で調整していきたいと考えておりますし、ある程度注力していくべきものと考えております。</p> <p>先ほどの指標の関係ですけれども、これは今、総合計画を4年で回しており、その中で、すでに1年間経過しているということもありますので、実際に取れる数値ということで代替の指標というものを outsourcing させていただいております。</p> <p>ご指摘のとおり、指標は確かにもう少し夢のあるというか、もう少しというようなところもあるのかもしれませんが、4年間という期間で回しているということもありますので、今、現実的に取れるものということで、今回提案させていただいたということです。</p> <p>ただ先ほど来、繰り返しになりますけれども、圏央道の全面開通などを好機と捉え、市としても取り組んでいく必要があると考えておりますので、ご理解いただければ、というふうに考えております。</p>
<p>金子会長</p>	<p>はいありがとうございます。</p> <p>では、それでは議事を進行させていただきたいと思っております。</p> <p>(3) その他について他に何かございますでしょうか。</p> <p>青木主査補お願いします</p>
<p>事務局 青木</p>	<p>本来であれば、会議に先立ちまして事務局からご連絡をさせてあげべきでしたけれども、本日、資料の訂正がございまして、そちらの説明を差し上げたいと思っております。</p> <p>本日、訂正後の資料とともに「指標等の訂正について」という A4 横の資料を配布させていただいております。</p> <p>概要を説明させていただきますと、資料1-2「令和5年度施策・基本事業評価結果」ホチキス止めの厚い資料、こちらに4つの指標で訂正がございません。</p> <p>「指標等の訂正について」の1ページをご覧ください。</p> <p>73 ページの施策3 指標① 「人口千人当たりの15歳から64歳までの病気等での死亡率(ケガ、事故を除く)」、76 ページ 基本事業05 「感染症等対策の推進」の指標②「新型コロナウイルスワクチン接種率」に訂正がござい</p>

	<p>ます。</p> <p>裏のページ、2ページをご覧ください。</p> <p>81 ページ 施策4 指標① 「子育てが幸せ、楽しいと思う就学前児の保護者の割合」、84 ページ 基本事業05 「こどもの人権の尊重」の指標②「児童に関する措置件数」、前のページと併せまして4つの指標に算定誤りがありました。</p> <p>それぞれの一覧表である72ページと80ページにおいても訂正が発生します。</p> <p>訂正の理由については、それぞれ記載がありますが、全て算出誤りが原因となっているものです。申し訳ございません。</p> <p>続きまして、3ページをご覧ください。</p> <p>数値の訂正とは異なりますが、資料1-3「重点分野成果状況一覧表」14ページ下段にあります、「事務事業の成果指標の実績」の「一般介護予防事業【介護保険特別会計】」と「生活支援体制整備事業【介護保険特別会計】」、この2指標については、資料作成時点では算出中であったため、空欄となっておりましたが、数値が出ましたので、併せてご報告させていただきます。</p> <p>お手数をおかけしますが、差し替えのほどよろしくお願いいたします。</p> <p>申し訳ございません。</p>
金子会長	<p>はいありがとうございました。</p> <p>他、ありますでしょうか。</p> <p>無いようですので、それでは、一切の議事が終了しましたので、ここで議長の任を解かせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
荒木総合政策部長	<p>【7. その他】</p> <p>長時間にわたるご審議、ありがとうございました。</p> <p>最後に、次第の7. その他になります。事務局から今後の会議予定等について、ご連絡させていただきます。</p>
事務局 青木	<p>では、次回の会議予定等についてご説明させていただきます。</p> <p>今年度の会議につきましては、今回で全て終了となりますので、次回の会議は来年度の開催という予定になっております。</p> <p>皆様の任期につきましては、今年度末までとなっておりますので、来年に關しましては改選とさせていただきます。別の方をお願いをする場合もございませんし、今の方に引き続きお願いする場合もございませんので、よろしくお願いいたします。</p> <p>改選等のうえ、来年度の会議につきましては2回開催を予定しております。</p> <p>総合計画の2年目の成果指標のご報告と、もう一つ、次期総合計画の策定に</p>

<p>荒木総合政策部長</p>	<p>ついて策定方針をお示しする予定ですので、ご参加いただく方に関しましては、ご協力のほどお願いできればと思います。</p> <p>事務局からは、以上となります。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
<p>小川委員</p>	<p>それでは委員の皆様から他に何かございますでしょうか。</p> <p>小川委員申し上げます。</p> <p>一つ提案があるんですけど、山武市でこういう有識者、外部の人たちを呼んだ会議をやっていると思うんですが、ここで出る湯茶なんですけれども、できればベルマーク商品を入れてほしいなと思っているんですよ。</p> <p>学校も統合したことですし、予算も限られているから、学校の運営の現場においてベルマーク事業をもし続けているのであれば、こういう会議で出る湯茶等についてもベルマーク商品を安価で調達できるのであれば、そういったものを活用させていただいて、学校教育の振興に支援していくという道筋をつけていただくのかなと思っています。</p>
<p>荒木総合政策部長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>審議会等については、かなりの数があると思いますので、今いただいたご意見を庁内で共有させていただければ、と思います。</p>
<p>小川委員</p>	<p>はい。どうもありがとうございます。</p>
<p>荒木総合政策部長</p>	<p>【8. 閉会】</p> <p>その他に委員の皆様から何かございませんか。</p> <p>ないようですので、本日の会議は全て終了となります。</p> <p>それでは、以上をもちまして、令和6年度第1回山武市総合計画審議会を閉会いたします。</p> <p>長時間にわたりまして、ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">【午後4時05分】</p>